

2015 年度 関西学院大学自己点検・評価
 < C 票 > 第三者評価結果 【司法研究科】

教育研究目標 1

1. 6 年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係性 （※ 6 年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3 名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 司法試験の全国平均合格率の二分の一の合格率を確保するという目標は具体的かつ適切である。（評価者 A） ・ 司法試験合格率の向上という目標は具体的です。（評価者 B） ・ 目標から具体的な学生像が想像できる。（評価者 C）
「具体的でない」 0 名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6 年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された 6 年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 司法研究科の特長を伸長させるために、適切かつ具体的な目標設定である。（評価者 A） ・ 6 年後の目標として適切であることは明白である。（評価者 B） ・ ①特長を伸長させる内容である（評価者 C） ・ ②妥当である（評価者 C） ・ ③妥当である（評価者 C） ・ ④適切である（評価者 C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 司法試験の合格率という評価指標は具体的かつ適切である。（評価者 A） ・ 指標として明確である。（評価者 B） ・ 妥当である。（評価者 C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ 適切なスケジュール設定である。（評価者 A） ・ 適切である。（評価者 C）

教育研究目標 2

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 公務法曹、企業法曹の輩出数の増加という目標は、具体的かつ適切である。（評価者A） ・ 教育研究目標に対して、現実的かつ具体的な目標が設定されています。（評価者B） ・ 関係性が具体的である。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部署の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 司法研究科の特長を伸長させるために、適切かつ具体的目標設定である。（評価者A） ・ 全体的に適切である。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 公務法曹、企業法曹の輩出数という評価指標は具体的かつ適切である。（評価者A） ・ 妥当である。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ 適切なスケジュール設定である。（評価者A） ・ 適切である。（評価者C）